

# WINTECH®

## 取扱説明書 アラーム付 CD クロックラジオ CDC-220



### 目次

安全上のご注意	・ ・ ・ ・ ・	P2-P6
ご使用になる前に	・ ・ ・ ・ ・	P7
電源について	・ ・ ・ ・ ・	P8
各部の名称	・ ・ ・ ・ ・	P9
時間を設定するには	・ ・ ・ ・ ・	P10
明るさ調整するには	・ ・ ・ ・ ・	P10
ラジオを聴くには	・ ・ ・ ・ ・	P10
CDを聴くには	・ ・ ・ ・ ・	P11
いろいろなCDの聴き方	・ ・ ・	P12
アラームの設定	・ ・ ・ ・ ・	P13
スヌーズ機能	・ ・ ・ ・ ・	P13
スリープ設定	・ ・ ・ ・ ・	P13
お手入れ	・ ・ ・ ・ ・	P14
故障かな?と思ったら	・ ・ ・ ・	P15-16
アフターサービスについて	・ ・	P16
主な仕様	・ ・ ・ ・ ・	P17
保証書		




この度は当社製品をお買い上げ  
いただきまして誠にありがとう  
ございます。  
正しくご使用いただくために、  
必ずこの取扱説明書をお読みく  
ださい。  
お読みになられた後は、いつで  
も見られるように大切に保管し  
てください。尚、製品の保証書  
は本取扱説明書の最終項にあり  
ます。ご購入の際は、店頭にて  
必ずご購入店名、ご購入日の記  
載をうけてください。

## ●安全上のご注意




\*製品を安全にご使用いただくため、この「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

### 絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	<b>危険</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。
	<b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う原因となります。
	<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、感電やそのほかの事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

### 絵表示の例

	△記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。（左図の場合感電注意が描かれています。）
	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。（左図の場合は分解禁止が描かれています。）
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く絵が描かれています。）

※お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

※この製品の故障、誤作動、不都合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ、ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音、再生などのお客様または第三者が製品利用の規格を逸した事による損害

## ●安全上のご注意

### 警 告

#### ・内部に水や異物を入れない



禁止



注意

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。その時にはすぐにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買上げ店にご相談ください。

(故障や感電の原因になります)

#### ・異常な状態の時は使用しない



禁止



注意

煙が出たり、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用しないでください(火災や感電の危険があります)

すぐにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認してから、お買上げ店にご相談ください。

#### ・電源コードの取扱い



注意



危険

電源コードを傷つけないでください。無理な曲げ、ねじり、引っ張りや加熱、加工などを加えないようご注意ください。

電源プラグをコンセントに接続するときは、次のことに十分ご注意ください。コードが傷つき火災や感電の原因になります。

- ・電源コードの上に機器本体や重いものをおかない。
- ・敷物の下に電源コードを隠さない。
- ・電源コードをホッチキスや釘などで固定しない。
- ・足を引っ掛ける恐れがある配線をしない。

電源コードが傷ついたら(芯線の露出や断線など)使用しないで下さい。(火災や感電の危険があります)

#### ・分解・改造はしない



分解禁止

お客様ご自身で本体を改造しないで下さい。(火災や感電の危険があります)

#### ・浴室やシャワー室では使用しない



禁止

浴室やシャワー室など湿度の高い場所や水はねのある場所では使用しないで下さい。

(火災や感電の危険があります)



## ●安全上のご注意



### 警告

- ・指定以外での電圧では使用しない



危険

表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。  
（火災や感電の原因になります）

- ・日本国外で使用しない



禁止

この機器を使用できるのは日本国内のみです。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しないで下さい。  
（火災の原因となります）

- ・落下した機器は使わない



危険

落としたり、カバーやケースが壊れた機器を使用しないでください  
（火災や感電の危険があります）

- ・乾電池は充電しない



危険

乾電池は充電しないで下さい。  
（電池の破裂、液漏れにより火災やけがの原因となります）

- ・乾電池に注意



電池に注意

乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が悪く飲んでしまうようなことのないようにして下さい。乾電池は幼児の手の届かないところへ置いて下さい。万一、お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師へ相談して下さい。

- ・雷に注意



接触禁止



感電に注意

雷が鳴り始めたら、アンテナや電源プラグに触れないで下さい。  
（感電の危険があります）

## ●安全上のご注意



注 意

- ・ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない



注意

感電の原因となることがあります。

- ・電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない



注意

コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。  
必ずプラグを持って抜いて下さい。

- ・湿気やほこりのある場所に置かない



注意



危険

油煙や水の当たる調理台、加湿器の近くや、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。

(火災や感電の原因になることがあります)

- ・温度の高い場所には置かない



注意



危険

窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。本体や部品に悪い影響を与え火災や感電の原因になることがあります。

- ・不安定な場所に置かない



注意



危険

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないで下さい。  
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

- ・大音量で長時間つづけて聞きすぎない



注意

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えます。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聴きましょう。

- ・はじめからボリュームを上げすぎない



注意

突然大きな音が出て耳を痛めることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、ヘッドフォンで聴くときにはご注意ください。

## ●安全上のご注意



### 注 意

#### ・お手入れするときは



電源プラグを抜く

お手入れするときは安全のため必ず電源プラグを抜いて下さい。乾電池も取り外して下さい。電源プラグをコンセントに接続したままお手入れすると、火災の原因となることがあります。

#### ・定期的に掃除を



定期的に掃除を

定期的に本体内部の掃除を販売店などにご相談下さい。本体内部にほこりがたまると火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨時期に行うとより効果的です。

#### ・移動するときは



電源プラグを抜く

移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、ヘッドフォンを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いて下さい。

#### ・アンテナ注意



アンテナに注意

持ち運びする時は、アンテナをたたんでください。伸ばしたまま持ち運びすると、アンテナが引っ掛かったり、当たったりなどしてけがの原因となることがあります。

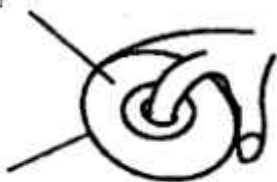
## ●ご使用になる前に

### 結露について

- ・寒い所から急に暖かい所に移動させるとレンズに水滴がついたり、くもったりする結露現象が occurs。この状態でご使用になると、正しく動作しない事があります。このような時はディスクを取り出して数時間放置してください。結露が取り除かれて正常に動作するようになります。

### ディスク取扱い上のご注意

ラベル面



再生面

- \*再生面に触れないように持ってください。



- \*ディスクに指紋や汚れが付いたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふき取ってください。

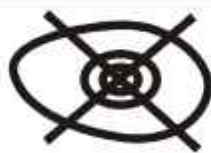


- \*長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。



- \*再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなど貼らないでください。

### ディスク使用上のご注意



- \*ひびやそりのあるディスクは絶対に使わないでください。

COMPACT  
disc  
DIGITAL AUDIO

CD  
SINGLE

- \*ディスクに上記のマークの入ったものをご使用ください。



- \*ハート型や八角型などの特殊形状のディスクは使用しないで下さい。  
機器の故障の原因となります。

- \*再生中、ディスクはプレーヤー内で高速で回転しています。ひび割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使用しないでください。
- \*CD-R/RWに記録されたディスクでの再生は、記録状態により再生できない場合があります。
- \*コピーガード付きのディスクは、再生できない場合があります。



## ●電源について

### 家庭用電源(AC100V)で使う場合

①電源プラグをコンセントに接続します。

\*長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

### 単四乾電池(2本)で使う場合 - ※クロックのバックアップ用のみ

①バッテリー収納部のフタをあけます。

②市販の単四乾電池2本(別売)を+と-の向きを確認し、正しく入れます。 ※単4乾電池×2(別売)

③フタを閉めます。

※本機は電池のみでは通常使用できません。電池は内部クロック(時計)のバックアップ用としてのみ使用されます。



### ※乾電池についてのご注意

液漏れ、発熱、発火、破裂などの事故防止のため、以下のことをお守り下さい。



警告

- ・火中へ投入、加熱、分解しないでください。
- ・ショートさせないで下さい。
- ・充電しないでください。

\*乾電池には充電式と充電式でないものがあります。乾電池の注意表示をご確認の上、ご使用下さい



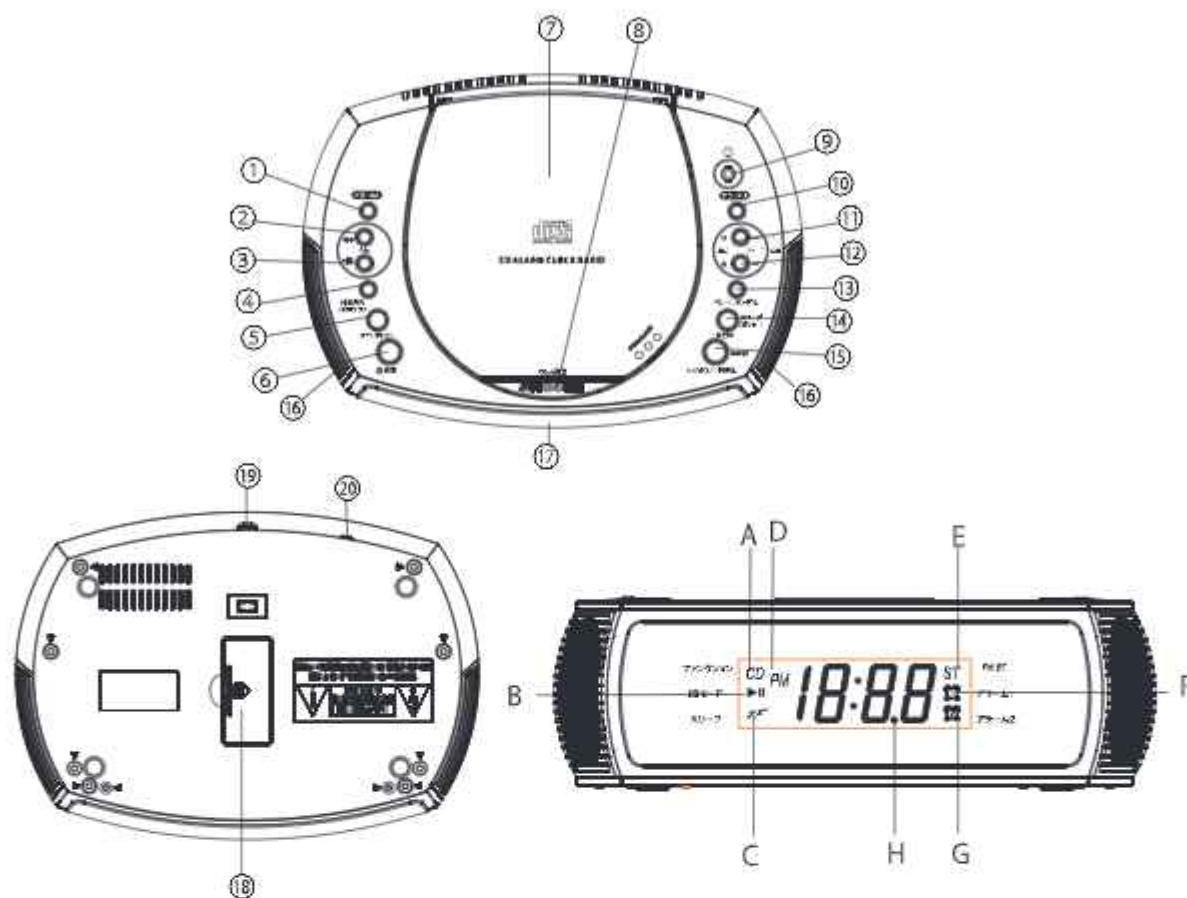
注意

- ・+、-の向きを正しく入れてください。
- ・使い切ったときや、長期間使用しないときは取り出しておいてください。

\*万一液漏れしたら、バッテリー収納部の液をよくふき取ってください。また身体、衣服に付着した時は、水で十分洗い流してください。



## ●各部の名称



1. アラーム1 設定ボタン
2. 音量UPボタン
3. 音量DOWNボタン
4. 時計設定/プログラムボタン
5. ファンクションボタン
6. 電源ON/スタンバイボタン
7. CDドア
8. スヌーズ/明るさ調整ボタン
9. ステレオヘッドフォン端子
10. アラーム2 設定ボタン
11. 選局+/スキップ▶▶/時刻+
12. 選局-/スキップ◀◀/時刻-
13. リピート/ランダム再生ボタン
14. ■停止/スリープ/プリセットボタン
15. ▶||再生/一時停止ボタン
16. スピーカー
17. クロック/CD動作ディスプレイ
18. バックアップ電池収納部
19. 電源コード部
20. FMアンテナ(ピッグテイルアンテナ)部

- 《ディスプレイ表示》
- A. ファンクション表示
  - B. CDモード表示
  - C. スリープ機能ON表示
  - D. PM(午後)表示
  - E. FMステレオ表示
  - F. アラーム1 ON表示
  - G. アラーム2 ON表示
  - H. リピート(点滅/点灯)表示

## ●時間を設定するには

本機は12時間表示（午前：AM/午後：PM）または24時間表示を選択できます。

12時間表示で時刻を設定する場合は、午後はPM（午後）表示が点灯するように設定して下さい。本機の底面にあるバッテリー収納部に電池を入れると部屋から部屋への移動など一時的にコンセントを抜いた場合も時計のバックアップができます。ただし、コンセントを抜くと電池が入っていても表示は出ません。

- ① 電源プラグをコンセントに差し込むと「0:00」がディスプレイに表示されます。
- ② 時計設定ボタンを押し、24時間（24h）、12時間（12h）点滅表示中に時刻＋ボタンで選択します。
- ③ 時計設定ボタンを押し、点滅表示中に時刻＋ボタンで時間をセットします。再度時間設定ボタンを押し、同様に分をセットします。
- ④ 時計設定ボタンを押し、時間を確定します。点滅が点灯に変わります。
- ⑤ 時刻設定を変更する場合は、電源OFF（スタンバイ）の状態、時計設定ボタンを押し上記②③④を繰り返します。



※時計バックアップ用の電池は別売です。（単四乾電池 x 2本）

## ●明るさ調整するには

本機は明るさ調整ボタンを押すことで液晶の明るさを2段階に調整できます。お好みの明るさに切り替えて下さい。

## ●ラジオを聴くには

AM放送、FM放送の受信ができます。

- ① 電源ON/スタンバイボタンを押します。
- ② ファンクションボタンでAMかFMを選びます。
- ③ ラジオ選局ボタンで放送局を受信します。
  - ・電波が弱い場合や遠方のラジオ局を受信する場合は、選局ボタンを軽く押し続けて周波数を調節します。
  - ・それ以外の場合はディスプレイの周波数が変わり始めるまで長押しします。周波数が自動で変わり始めたら手を離します。次の受信可能な周波数まで本機が自動で検索します。
- ④ 音量ボタンで適音に合わせます。

### ◆ラジオ局をプリセットするには

- ① お好みのラジオ局を選択し、時計設定/プログラムボタンを押します。
- ② スリープ/プリセットボタンを押し、設定したいプリセット番号を選択します。  
※FM20局/AM20局
- ③ 時計設定/プログラムボタンを押し、確定します。
- ④ プリセットしたラジオ局を聴くには、ラジオモードでスリープ/プリセットボタンを押し聴きたい番号を選択します。



### より良い受信をするために

#### ○AM放送を聴くとき

アンテナが本体内部に内蔵されておりますので、一番良く受信できる方向に本体を向けて下さい。

#### ○FM放送を聴くとき

FMアンテナを伸ばして一番良く受信できる方向に向けます。

※建物の中では、電波が弱くなり、聴こえにくい場合があります。できるだけ窓側に設置して下さい。

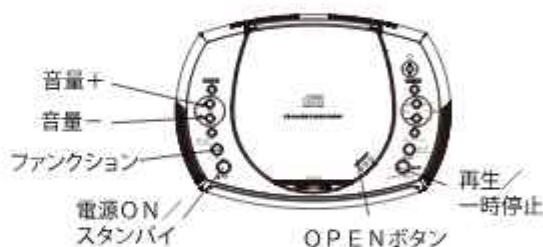
※ご注意 ・ラジオの受信時、近くのテレビの音や本機の音に雑音が入る場合は、テレビから離すか、テレビの電源を切って下さい。



## ●CDを聴くには

### CDの取り扱い方

- ①オープンボタンを押し、CDドアをゆっくり開けてCDのラベル面を上にして、CDを中央の軸にキチッとはめてください。
- ②CDドアを閉めてください。
- ③電源ON/スタンバイボタンを押します。
- ④ファンクションボタンでCDに合わせます。
- ⑤ディスプレイにCD全トラック数が表示され、その後クロック表示に戻ります。
- ⑥再生/一時停止ボタンを押すと1曲目から再生を始めます。再生する曲の番号が表示されその後クロック表示に戻ります。



- ⑦ボリュームボタンで適音に調整します。



### 演奏を一時停止する

再生を一時停止するには再生/一時停止ボタンを押します。  
現在のトラック番号が点滅します。  
再生を再び始めるときは、もう一度再生/一時停止ボタンを押します。

### 演奏を停止する

再生を停止するには、停止ボタンを押します。



### 別の曲を選択する

再生中にスキップ▶▶ または◀◀ ボタンを押し、選択したい曲のトラック番号を選びます。  
選択したトラック番号の再生が始まります。  
(停止中の場合は再生/一時停止ボタンを押してください)

### 現在聴いている曲の頭出しをする

再生中にスキップ◀◀ ボタンを押します。  
曲の最初から再生を始めます。



### 早戻し/早送りする

再生中にスキップ▶▶ または◀◀ ボタンを聴きたい箇所まで長押しします。  
※長押し中は音は飛んだような音になります。



## ●いろいろなCDの聴き方

### リピート/ランダム再生

#### ○1曲繰り返し再生するには

再生中または再生前にリピート/ランダムボタンを1回押します。  
ディスプレイ上にリピート表示が点滅します。

※停止状態の場合は再生/一時停止ボタンを押して再生を開始します。

#### ○全曲繰り返し再生するには

再生中または再生前にリピート/ランダムボタンを2回押します。  
ディスプレイ上にリピート表示が点灯します。

※停止状態の場合は再生/一時停止ボタンを押して再生を開始します。

#### ○ランダム再生するには

再生中または再生前にリピート/ランダムボタンを3回押します。  
ディスプレイ上の ▶/III 表示が点滅します。

#### ○リピート/ランダム再生を解除するには

再生中または再生前にリピート/ランダムボタンを4回押し、ディスプレイ上からリピートまたはランダム表示が消えれば解除となります。



### プログラム再生 (最大20曲)

①停止になっている状態でプログラムボタンを押します。

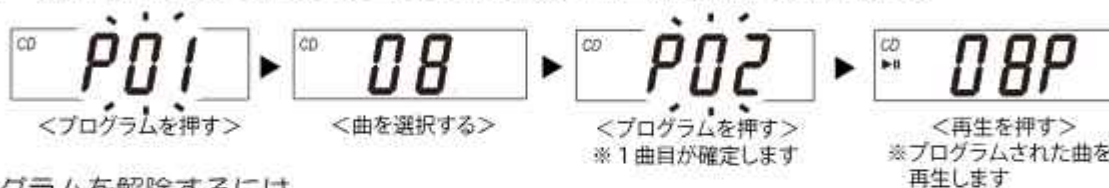
②ディスプレイ上に P. 01 が点滅します。

③スキップ ▶▶ または ◀◀ ボタンでプログラムする曲を選びます。  
トラック番号がディスプレイ上に表示されます。

④プログラムボタンを押します。1曲目が記憶された状態になり、2曲目を選べる状態となります。

⑤上記③と④の操作を繰り返します。

⑥再生/一時停止ボタンを押すとプログラムされた1曲目から再生を始めます。



⑦プログラムを解除するには

a) 停止ボタンを2回押します。

b) 電源ボタンを押してオフにします。

c) CDドアを開けた場合でも解除されます。

d) プログラムした曲の演奏を全て終了した場合も解除されます。

(リピート再生を選択している場合は終了しませんので、上記方法で解除して下さい)

## ●アラームの設定

本機は毎日希望する時間から最大60分CD・ラジオ・ブザーの音を流すことができます。アラームを異なった時間で2回設定することができます。

※アラーム動作中は設定時間でONになり、スヌーズ操作をしない場合60分後にOFFになります。

※アラーム設定は電源オフ(スタンバイ)の状態で行ってください。

※CDを選択した場合はCD1枚の再生が終わるとCD再生が停止します。

60分以上のCDの場合は、60分で停止します。

(CDが入っていない場合ブザーアラームとなります)



- ①時計表示(電源OFF)の状態ではアラーム1またはアラーム2ボタンを押します。設定中のアラーム表示と、時間表示が点滅するので時刻+ボタンで時間を設定します。
- ②設定中のアラームボタンを押すと分表示が点滅するので時刻+ボタンで分を設定します。
- ③設定中のアラームボタンを押し、b u(ブザー)、c d(CD)、A M表示、F M表示を時刻+ボタンで選択します。
- ④設定中のアラームボタンを押し確定します。設定が完了したアラーム1またはアラーム2表示がディスプレイ上に点灯します。
- ⑤アラーム1の設定をキャンセルするには、アラーム1ボタンを一度押します。アラーム1表示を消します。アラーム2のキャンセルも同様に操作して下さい。
- ⑥アラームを停止する場合は、アラームボタンか電源ボタン、スヌーズを使う場合はスヌーズボタンを押します。



### ◆ラジオをアラーム設定する場合

事前に聞きたい周波数に設定して下さい。AM/FMとも直近まで聞いていた局がアラームとなります。

※アラーム設定時に、設定されている周波数が表示されますが、

途中ラジオ周波数を変更すると、変更後の周波数が優先されますのでご注意ください。

## ●スヌーズ機能

アラーム機能で設定した音はスヌーズボタンを押すことによって一時的に消すことができます。

アラーム1または2表示が点滅します。

アラーム機能は自動的に5分後に元に戻って繰り返し音を出します。

※スヌーズ機能を使用すると5分後にオンになってから

60分後に、電源がOFFになります。

※スヌーズ機能は連続12回まで使用可能です。

解除されない場合、途中停止したい場合は

アラームボタンか電源ボタンを押してアラームを停止して下さい。

スヌーズ



## ●スリープ設定

①希望のラジオ周波数またはCDを選択します。

②スリープボタンを長押しします。

スリープ表示がディスプレイ上に点灯します。

③スリープボタンを押し続けると10→20→30→40→50

→60→70→80→90→0と表示が変化します。希望のスリープ時間を選択します。

④スリープ機能を解除するには、スリープボタンを長押しし、スリープ表示が消えるまでスリープボタンを押し続け表示を0にします。





## ●お手入れ

### 本体のお手入れ

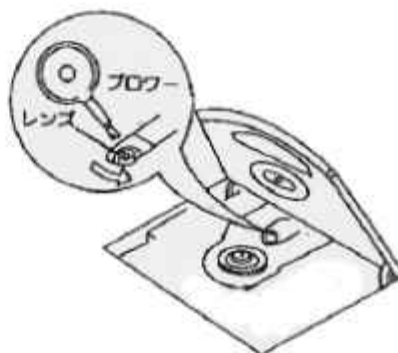
柔らかい布でからぶきします。  
シンナーやベンジン、アルコール等は、表面を傷めますから使用しないで下さい。

### CDレンズのお手入れ

レンズの汚れが原因で音とびが起きたり、演奏が出来なくなった場合、クリーニングしてください。

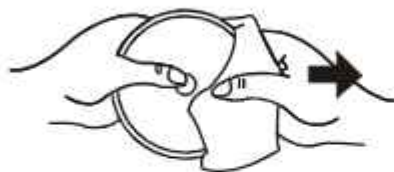
- ・ごみやほこりがついたとき  
ブロー（市販）でレンズを数回吹いてごみをとばします。
- ・ブローで除去できない汚れなどがついたときは  
市販のCDレンズクリーナーを使ってレンズをクリーニングします。

※注意：指などでレンズ表面に触れないでください。



### ディスクのお手入れ

ディスクに指紋や汚れがついたときには  
きれいな柔らかい布で中央から外に向かって軽くふきます。





## ●故障かな？と思ったら

使用方法を間違えたりしますと次のような症状が起こり、故障と思われることがあります。修理を依頼するまえに、下記の表を参考にしてください。症状が下記の表に当てはまらなかったり、表内の対処方法で解決されない場合には、電源を抜いて販売店へ連絡してください。

症状	原因	対処方法
電源が入らない。	電源プラグはしっかりさしこまれていますか？	電源プラグの接続を確認してください。
CDの演奏が始まらない	CDが裏返しになっていませんか？	CDの向きを確認してください。
	CDが汚れていませんか？	CDを清掃してください。
	CDドアがしっかりとしまっていますか？	CDドアをきちんとしめてください。
	ファンクションスイッチがCDになっていますか？	CDに切り換えてください。
	一時停止状態になっていませんか？	再生ボタンを押して下さい
表示に NO CD と出る。	CD の読み込みができていません。	14 項を見て本機および CD をクリーニングして下さい。
音が出ない。	ボリュームが最小になっていませんか？	ボリュームを調整して下さい。
	ヘッドホンが接続されていませんか？	ヘッドホンジャックからヘッドホンを抜いて下さい
	CDの機械部が結露状態になっていませんか？	CDを取出し、CDドアを開いて数時間ほどそのままにしてください。
CDの音が飛ぶ。	CDが汚れていませんか？	CDを清掃してください。
	CDに傷がありませんか？	CDを交換してください。
	強い振動を与えていませんか？	安定した場所においてください。
液晶画面が表示されない ボタンを押しても反応しない。	静電気がおきていませんか？	一度電源を切り電源プラグをコンセントから抜いて数分たったら接続し直してください。

## ●故障かな？と思ったら

症状	原因	対処方法
ラジオで波のような音が入る。	周波数がずれていませんか？	周波数を正しく合わせてください。
雑音が入る。	本機の向きを調節しましたか？	本機の向きを調節して下さい。
	近くにテレビや蛍光灯等の電気製品はありませんか？	本機をテレビや蛍光灯などの電気製品から離して下さい。
放送局が入りにくい。	近くに高い建物があったり密閉状態のような場所で使用していませんか？	使用場所を変えて下さい。

## ●アフターサービスについて

- ・この製品には保証書がついています。

お買い上げの販売店の所定事項をご確認いただき、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。  
所定事項の記入がない場合は保証が有効となりませんのでご注意ください。

- ・保証期間内に修理を依頼されるとき

この取扱説明書をよくお読みになり、異常がある場合はお買い上げの販売店に保証書をご提示の上、修理を依頼してください。保証書の規定により、修理させていただきます。

- ・保証期間後に修理を依頼されるとき

お買い上げの販売店にご依頼下さい。修理により、製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理致します。

※お客様ご自身で修理や分解・改造することは危険ですので、絶対におやめ下さい。

## ●主な仕様

- 受信周波数 . . . . . AM 522~1620KHz  
FM 76~108MHz
- 電源 . . . . . AC100V/50-60Hz (自動切り換え)  
単四乾電池2本 (クロックバックアップ用)  
(別売)
- 消費電力 . . . . . 約15W
- 出力 . . . . . 1W×2
- サイズ (本体部分) . . . . . 約W235×D166.5×H75mm
- 重量 (本体部分) . . . . . 約1.08Kg
- 付属品 . . . . . 取扱説明書 (保証書)

※仕様等は予告なく変更することがありますのであらかじめご了承下さい。